

## 徳島地域連携協議会

徳島地域連携協議会は、下記の「設置」目的に則って、平成15年2月4日に設置されました。平成26年4月までに徳島県、県内全ての市町村、徳島県市長会、徳島県町村会と連携協定締結し、平成26年8月29日に開催した「平成26年度徳島地域連携協議会」には、全ての自治体に参画いただきました。

徳島大学の窓口である研究・社会連携部地域創生課に事務局が置かれていて、県の窓口は徳島県政策創造部県立総合高等学校本部となっています。(平成30年3月現在)

### 徳島地域連携協議会設置要項

(設置)
第1 徳島県、徳島県下の全市町村、徳島県市長会、徳島県町村会及び徳島大学は、地域の雇用創造、産業振興への貢献、地域の課題解決への貢献、地域のイノベーション創出人材の育成等の地域の再生に向けて、連携・協力を行うため、徳島地域連携協議会(以下「協議会」という。)を置く。
(業務)
第2 協議会は、次の業務を行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域連携の企画・調整に関すること。</li> <li>(2) 連携事業ニーズに係る情報収集に関すること。</li> <li>(3) 連携事業の実施計画に関すること。</li> <li>(4) 実施される連携事業の広報に関すること。</li> </ol>
(組織)
第3 協議会は、別表に掲げる委員をもって組織し、会長及び副会長は、同表に示すとおりとする。
(会長及び副会長の職務)
第4 会長は、協議会を招集し、その議長となる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。</li> </ol>
(運営会議)
第5 協議会が行う業務について審議するため、運営会議を置く。 <ol style="list-style-type: none"> <li>2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ運営会議を開くことができない。</li> <li>3 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。</li> </ol>
(代理出席)
第6 第3の委員が運営会議に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。
(委員以外の者の出席)
第7 協議会が必要と認めるときは、運営会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。
(庶務)
第8 協議会の庶務は、徳島大学研究・社会連携部地域創生課において処理する。
(雑則)
第9 この要項に定めるもののほか、協議会について必要な事項は運営会議の議を経て定めるものとする。
(略)
附 則
この要項は、平成28年4月1日から実施する。

### 徳島地域連携協議会委員名簿 (平成30年3月現在)

自治体・大学名	職名	備考
徳島県	政策創造部県立総合高等学校本部長 各部局主管課長 南部総合県民局経営企画部長 西部総合県民局企画振興部長 県立総合教育センター所長	副会長
徳島市	大学連携担当部課長	
鳴門市	大学連携担当部課長	
小松島市	大学連携担当部課長	
阿南市	大学連携担当部課長	
吉野川市	大学連携担当部課長	
阿波市	大学連携担当部課長	
美馬市	大学連携担当部課長	
三好市	大学連携担当部課長	
勝浦町	大学連携担当課長	
上勝町	大学連携担当課長	
佐那河内村	大学連携担当課長	
石井町	大学連携担当課長	
神山町	大学連携担当課長	
那賀町	大学連携担当課長	
牟岐町	大学連携担当課長	
美波町	大学連携担当課長	
海陽町	大学連携担当課長	
松茂町	大学連携担当課長	
北島町	大学連携担当課長	
藍住町	大学連携担当課長	
板野町	大学連携担当課長	
上板町	大学連携担当課長	
つるぎ町	大学連携担当課長	
東みよし町	大学連携担当課長	
徳島県市長会	事務局長	
徳島県町村会	事務局長	
徳島大学	副学長(地域・産官学連携担当) 地域連携戦略室の構成員	会長

日時：平成29年6月3日(土)

13時30分～16時30分

場所：徳島大学フューチャーセンター『A.BA』

主催：徳島大学、徳島新聞社、徳島県信用保証協会

【プログラム】

●開会挨拶

徳島大学理事(地域・産官学連携担当)・副学長

吉田和文

徳島県信用保証協会会長 里見光一郎

●まちごとファクトリー趣旨説明

徳島大学地域創生センター副センター長・准教授

田口太郎

●基調講演

演題「地域で仕事を起こす」

エーゼロ株式会社代表取締役 牧大介

●話題提供

株式会社フードハブ・プロジェクト支配人(COO)

真鍋太一、同社農業長 白桃薫、

オウライ株式会社代表取締役 西崎健人

●パネルディスカッション

テーマ「地域との関係／仕事と地域」

パネリスト：牧大介、真鍋太一、白桃薫、西崎健人

コーディネーター：田口太郎

●今年度の「まちごとファクトリー」の進め方

徳島大学地域創生センター副センター長・教授

山中英生

●閉会挨拶

徳島新聞社理事 事業担当事業局長 兼 地域連携推進室長

吉村昇

●司会進行

徳島大学地域創生センター助教 笹尾知世

### 概要

タウンミーティングは、本学が徳島県内市町村の有する課題を取り上げ、その解決に向けた地域と大学の相互対話による取組について協議するもので、地域貢献事業の一環として毎年県内各地で開催しており、今回で14回目となった。

今回のタウンミーティングは、平成27年度から、徳島大学と徳島新聞社の連携事業として開始し、平成28年度から徳島県信用保証協会が加わり、事業を実施している「まちごとファクトリー」において、平成29年度事業のキックオフセミナーとして開催され、広く自治体や関連

団体の関係者や一般市民等、約90名の参加があった。

セミナーでは、岡山県西粟倉村で地域の森林資源等を活用し、地域を維持していく取組を行っている牧大介代表取締役(エーゼロ株式会社)をゲストに迎え、「地域で仕事を起こす」と題して、基調講演があった。

その後、神山町で農場や食堂経営に取り組む真鍋太一支配人(株式会社フードハブ・プロジェクト)、白桃薫農業長(同社)及び三好市で地域交流施設としてのバー等を営む西崎健人代表取締役(オウライ株式会社)を加えたパネルディスカッションを行った。

牧代表取締役は岡山県西粟倉村でエコツーリズムからはじめ、小さな多角的な取組から多くの雇用を生み出している。移住者の真鍋支配人と神山っ子の白桃農業長の2人が「世界の神山」で始動したフードハブ・プロジェクト。三好市の西崎代表取締役は地域の人達とのコミュニケーション(言ってしまうと飲み話)の中からビジネスチャンスを見出して多様なスモールビジネスを展開している。三者三様でそれぞれの「まちごと」の形は違えど、一見地域では難しそうに見えるようなビジネスを、地域を巻き込みながら展開されている様子が見えた。

まちごととは『まずは小さなプロジェクトから』という分かりやすい方向性が共有できたタウンミーティングとなった。



パネルディスカッションの様子



会場の様子